ドロップ・サイト・デイリー、１１月１３日：イラン、バーレーンにある米国のレーダーを攻撃；ヴァン・ホーレン氏がシューマー氏に異議を唱える；トランプ氏、キューバに対する軍事作戦を検討

脇浜義明訳

イラン

＊イラン革命防衛隊（IRGC)、バーレーンにある米軍の早期警戒レーダーを破壊したと発表：IRGC は、１２日にイラン南部の港町シリクにある通信塔が攻撃されたことへの報復として、バーレーンに設置されていた米軍の早期警戒レーダーシステムを破壊したと発表した。バーレーンは米海軍第５艦隊の拠点地である。イランのバーレーン攻撃は９月以来久しぶりである。

・IRGC は、「これは、空中の挑発行為や石油密輸を止めるように侵略的な敵に対する警告である。今後もこういう違反や侵略行為が繰り返されるならば、IRGC 航空宇宙軍は制限なしに応戦する準備を整えている」と言った。

・また、国営通信社イスラム共和国通信（IRNA)によれば、イラン海軍がホルムズ海峡上空で米軍の無人機「ＭＱ－１プレデター」を撃墜した。イラン南部のシリクの沿岸である。

＊イラン、ＩＡＥＡに対し、「米国の脅威下では核査察はできない」と通告：ＡＰ通信が加盟各国に国際原子力機関（ＩＡＥＡ）が配布した機密報告書を引用して報道したところによると、イランは今月、米国からの軍事攻撃に脅威にさらされている状況では、核査察に関する協議を進めることができないとＩＡＥＡに伝えた。

・米国大統領の「一連の執拗で明確で、公然とした脅迫」、特にイランの核施設を標的とする「さらなる武力侵略行為を行う」という脅迫が続いている中では、イランは核査察に関する協議を再開できないと言った。

・また、イランは、IAEA 宛てに書簡の中で、米国務省が最近イランの核開発計画に関する情報提供に最大２０００万ドル提供するとした発表に、懸念を表明した。

・イランは、２０２５年６月の１２日間にわたる米・イスラエルの攻撃の間、標的にされた核施設へのIAEA 査察官の立ち入りを許可しなかった。IAEA は、当時、イスファハーンにある燃料濃縮施設について「懸念を強めている」と言った。IAEA は６月に同施設を訪問する予定であったが、米・イスラエルの同施設への攻撃で中止された。IAEA は報告書の中で、同施設の「正確な場所」や「核物質があるかどうか」について「把握していない」と述べている。

＊IEA、世界の石油市場は過剰状態に回復：国際エネルギー機関（IEA)は月報の中で、世界の石油市場は２０２６年第４四半期には供給過剰の状態に戻るという見通しを表明した。ホルムズ海峡で船舶攻撃が続いているが、中東からの輸出が回復している。

・IEA は「石油市場は一時的に均衡を取り戻しつつあり、イラン戦争勃発以降初めて、世界の石油供給量が需要を上回った」と指摘した。

パレスチナ

＊ガザ市でイスラエル軍がパレスチナ人を射殺：アル・ジャジーラによると、１３日の朝、ガザ市トゥッファ地区で、イスラエル軍の銃撃でパレスチナ人１人が死亡した。

＊世界４９カ国がイスラエルに人道支援物資のガザ搬入を許可するように要請：１２日、世界４９カ国が共同声明で、イスラエルに、ガザへの物資搬入の制限を緩和することを求め、事実上のガザ回廊全面封鎖が、ガザ回廊内の公衆衛生状態を悪化させていると警告した。

・署名国はガザへの支援物資搬入を妨げないことを求めた。具体的に、人道支援回路の再開、イスラエルがガザへの持ち込みを禁止しているいわゆる「軍民両用」になる重機を含む、生活の不可欠な物資の搬入を許可することを求めている。

・サラ・マッキントッシュ国連駐在英国大使は、ニューヨークの国連本部で、「冬の到来を迎え、ガザ回廊では適切な避難場所を確保できていない人々が多く、低体温症、呼吸器感染症、水系感染症、その他普通であれば予防できる病気のリスクに直面している」と語った。
・この要請では、特に避難所、燃料、水、衛生設備、医療ケアに必要な物資の搬入が強調されている。また、ガザ回廊の患者が東エルサレムや西岸地区で医療を受けることを許可することをイスラエルに求めた。
・さらに、署名各国は、医療支援・人道支援従事者や施設を保護しなければならないと指摘し、医療従事者に対するイスラエル兵の攻撃については即刻刑事捜査を行えと促し、国際的高官代表団やジャーナリストがガザ回廊に立ち入れるようにするようイスラエルに要求した。
・この共同声明を主導したのは英国、カタール、ヨルダンで、オーストラリア、カナダ、エジプト、フランス、イタリア、オランダ、ポーランド、サウジアラビア、スペイン、トルコが支持した。米国は署名していない。

＊イスラエル軍、西岸地区を襲撃、パレスチナ人を逮捕：WAFA 通信によれば、イスラエル軍は西岸地区各地を襲い、パレスチナ人を逮捕した。
・ジェニン市周辺の町でイスラエル兵はパレスチナ人４人を逮捕した。
・ベツレヘムの東の町アル・ウベイディヤにイスラエル軍部隊がスタングレネードをを投げながら突入し，町中に陣地を設営した。また、ナブルス市内では複数の地区を襲撃し、近郊のベイト・フリクやベイト・ダジャンの町では多数の住宅を捜索した。
・サルフィット北方のマルダニ村では、イスラエル軍が侵攻し、多数の住宅を捜索し、若者数人を拘束、現場尋問を行って、釈放した。

イエメン

＊サウジアラビア主導連合軍、サアダ県で民間人５人殺害：アル・ジャジーラによれば、１３日、イエメン北部のサアダ県へのサウジアラビア主導連合軍の攻撃で、民間人５人が死亡した。
・アンサール・アッラーの情報筋を引用したアル・ジャジーラの報道によると、アンサール・アッラーはタイズの政府軍の軍事キャンプを６発の弾道ミサイルで攻撃した。

＊アンサール・アッラーの攻撃が続く中、サウジアラビア行きの航空便が運航停止になった：アンサール・アッラーがミサイルやドローンでサウジアラビアの空港、エネルギー施設、インフラを標的に攻撃しているので、各国の航空会社はサウジアラビアのいくつかの空港への運航を停止した。
・インドの複数の航空会社は、リヤド、ジッダ、ダンマーム、マディーナの都市への運航停止を１１月下旬まで続けると発表し、UAE やオマーンの虚空会社も同じような停止延長も発表した。　・オランダの KLM 空港は１１月下旬まで運行を停止し、ブリティッシュ・エアウェイズはロンドンーリヤド路線の運航再開を１月まで延期した。

レバノン

＊イスラエル、相変わらずの停戦違反で南レバノン攻撃：レバノン政府系の国立通信社によると、１３日、イスラエル軍は南レバノンのマイファドゥーン、タルーサ、バニ・ハイヤーンなどの町を攻撃したが、死傷者の報告はない。

米国のニュース

＊クリス・ヴァン・ホーレン上院議員、上院多数党院内総務への立候補を表明：メリーランド州選出の民主党クリス・ヴァン・ホーレン上院議員は、次期上院民主党トップの座をめぐって、現在現職のチャック・シューマー上院議員に挑戦する意向を１２日に表明した。ヴァン・ホーレンは、中間選挙で「米国民は変化をもとめた」

と述べ、民主党には「新しい指導部が必要だ」と主張した。彼は、もし自分が選出されれば、１２月に期限を迎える予算措置を活用して、多数派が持つあらゆる手段を使ってイラン戦争を終結させると語った。この発表を受け、バーニー・サンダース上院議員（無所属)、次期上院議員のアブドゥル・エル・サイードがヴァン・ホーレンへの支持を表明した。他方で、アンガス・キング上院議員やカースティン・ジリブランド上院議員はヴァン・ホーレンの挑戦を批判し、中間選挙の勝利を主導した人物としてシューマーを擁護した。民主党の連邦議会議員団は１２月に非公開の党員集会で、指導部を選出する。党の多数派リーダーに就任するためには、どちらかが民主党上院議員５５人中の２８人の支持を得る必要がある。

・ドロップ・サイトの票読みでは、シューマー寄り１６，ヴァン・ホーレン寄り１０，中立８，未決定２１である。

＊２０２６年に ICE が国外追放した数は過去最多の４８万３２００人：CBS が入手した国土安全保障省のデータによると、２０２６会計年度に米移民税関捜査局（ICE)が国外追放した人数は４８万３２００人で、これまでで最多数を記録した。これまでの最多記録であった２０２５年会計年度の４４万２６４０人を上回った。無党派のシンクタンク「移民政策研究所」の調査によれば、２０２５年１月以降に ICE と CBP（米税関・国境警備局）が国外追放した約９８万人のうち、何らかの犯罪で有罪判決を受けた経歴がある人物は僅か２０％以下であった。中間選挙の出口調査では、有権者がトランプ政権の極右的移民政策を拒否したことが示された。

＊アラスカ州上院選、ペルトラがサリバンをリード：１３日時点で、アラスカ州上院選で、民主党候補のメアリー・ペルトラが共和党のダン・サリバン上院議員を３９７５票リードしているが、まだ勝敗は確定していない。Decision Desk HQ のデータによると、ペルトラの得票率は４８．５%超、サリバンのそれは４６．９%超で、アンカレッジやその他の地域の数万票はまだ集計されていない。

＊ゾーラン・マムダニ市長はニューヨーク市警の抗議活動鎮圧部隊を解散させる計画：ポリティコによると、マムダニ市長は、問題の多い抗議活動鎮圧部隊である戦略対応部隊 SRG)を解散させる計画である。この部隊は、群衆管理を担うが、非暴力的デモ参加者に繰り返し暴力的取り締まりを行ったとして物議をかもしている。早ければ来週にも正式な解散が発表される見通しである。公民権擁護者や活動家はこの舞台の過剰な暴力行使や不適切な行為を非難してきた。これに対し、ニューヨーク市警のジェシカ・テッシュ本部長は SRG の存続を主張している。

＊トランプ大統領、上院共和党に３５０００億ドルの国防予算案可決を要請：トランプ大統領は１２日、共和党議員に、議会での過半数があるうちに、３５００億ドルの新たな国防予算を可決するように求めた。彼は Truth Social に「共和党はわが国の兵士たちのために結果を出さなければならない。民主党にはできない。今こそその時だ」と投稿した。下院を通過した同予算案にはイランとの戦争に関する資金が含まれているが、上院では４か月近く停滞したままだ。この予算案には国防省予算６００億ドルが含まれている。

＊ドナルド・トランプ・ジュニア、予測市場「カルシ」の顧問を退任：「カルシ」の広報担当者は、「トランプ・ジュニアとカルシはこの夏、トランプ・ジュニアが経営する企業が競合他社に多額の投資を行ったことを受け、顧問契約を終了することで合意した」と発表した。トランプ・ジュニアが経営する「１７８９キャピタル」が予測市場を運営する企業「ポリマーケット」に出資したことを指している。トランプ・ジュニアは「ポリマーケット」でも顧問をしている。

＊米海軍、乗組員は１２カ月間の任務になると家族に説明：１１月９日に開かれたタウンホール会合で、海軍の指導者は、空母「ジョージ・H・W・ブッシュ」はクリスマス休暇シーズンに帰港することはないと言った。海軍長官代行のハング・カオは海軍兵の家族らに対し、乗組員が帰還するのは「イランが非核化されたとき」になると言った。同空母は3月３１日に、バージニア州のノーフォーク海軍基地から中東へ向けて出港した。海軍によると、同空母の中東からの帰還時期は、ピート・ヘグセス国防長官が決定するという。

＊トランプ大統領、自分の退任前にキューバに対する軍事作戦を行うことを示唆：１２日、キューバに対する軍事行動の可能性について質問されたトランプ大統領は「できればやりたいと思っている」と答え、「私が退任する前にキューバ問題にかたをつけたい」と言った。彼は、この問題についてはマルコ・ルビオ国務長官が政

権内の担当者であると説明した。トランプは今週初めに、ホワイトハウスの記者会見で、キューバ政府は「非常に近い将来」に崩壊するだろうと述べ、先週にはフロリダ州の私邸マール・ア・ラーゴで、「ルビオがキューバ問題に取り組む」と語った。

その他の国際ニュース

＊アッシャバーブが米軍の訓練を受けたソマリア特殊部隊を襲撃：ドロップ・サイト・ニュースの寄稿者モハメド・ガボベの報告によると、１２日、不安定な治安のソマリア南部シャベレ州のヤクビルウェイン近郊で、アッシャバーブ戦闘員が、米軍の訓練を受けたソマリア部隊を襲撃した。２人のソマリア治安関係高官がドロップ・サイトに語ったところによると、通常のパトロールをしていた車両５台から構成された「ダナブ」（稲妻）旅団が待ち伏せ攻撃された。「ダナブ」はバラク・オバマ政権第２期に米国の支援で創設されたソマリア人の精鋭対テロ部隊である。それははっきりとアッシャバーブとの戦闘を任務とする部隊であった。ソマリア当局によると、この待ち伏せ攻撃で、兵士８人が死亡し、車両２台をアッシャバーブに奪われた。アッシャバーブ側は、「ダナブ」部隊の兵を１７人殺害したと主張している。ソマリア国防省によると、死亡者の中には高位の現場指揮官２人が含まれていた。

・待ち伏せ攻撃は、ソマリアの首都モガディシュから約６０マイルのところの、最近放棄されたばかりの米軍基地「バレドグレ飛行場」の近くで起きた。今月初めに米軍はこの基地から撤退した。米アフリカ軍副司令官のジョン・ブレナン陸軍中将は今月、記者会見で、「バレドグレからの移転は１００％経済的理由による決定」と説明し、「飛行場の滑走路の劣化が進み、航空機の発着陸が危険な状態であった」と言った。バレドグレはソマリア国内において最大の米軍基地であった。

・９月に、モハメド・ガボベが、米軍がソマリアのアデン湾沿岸の港湾都市ボサノで新たな米軍基地を建設しているという記事を書いた。Mohamd Gabobe, “Secretive U.S. Base in Somalia Signals New Phase of War”, Drop Site News, Sep 04, 2026

＊イムラン・カーンの姉妹が釈放される：パキスタンの元首相イムラン・カーンの姉妹であるウズマ・カーンとノリーン・ニアジ・カーンが５３日間の収監の後釈放されと、１２日に彼女たちの弁護士が発表した。もう一人の姉妹のアリーマ・カーンは収監されたままである。３人の姉妹は、２０２３年８月から収監されている身内のイムラン・カーンの釈放を求める９月２７日に予定されていたデモ行進の１週間前に逮捕された。カーンが率いるパキスタン正義運動が組織した９月２７日のデモ行進は、連邦政府がカイバル・パクトゥンクワ州のパキスタン正義運動主導の州政府を停止させた後、中止となった。先月、ドロップ・サイト寄稿者のメヘル・シェールがパキスタン政府のカイバル・パクトゥンクワ州政府への暴力的弾圧について記事を書いた。Mehr Sher, “Violent Crackdown in Northwest Pakistan Aims to Neutralize Party of Imran Khan”, Drop Site News, Oct.27, 2026.

＊パキスタン警察とタリバンの交戦、警官１０人とタリバン戦闘員１８人が死亡：１２日、パキスタンのカイバル・パクトゥンクワ州コハト地域で、パキスタン・タリバン運動の戦闘員が警察官を襲撃した。州警察によると、警察官１０人とタリバン戦闘員１８人が死亡し、警察官１２人が負傷した。１１日に警察官らがガンバット地域の鉱山から戻る途中に襲撃された。

＊米国務省、ベネズエラから押収した１２０億ドルの行方に関する報告書を公表：米国務省は１２日、５３頁の報告書を公表した。これは、１月に米軍がニコラス・マドゥロ大統領を拉致して以降、米政府がベネズエラから押収した石油・鉱物資源収入１２０億ドル以上の使い道をまとめたものである。押収総額のうち、１億６９００万ドルの使途が不明である。報告書の大部分が黒塗りされており、取引に関与した人物の名前は不明である。一方、資金については、報告書によると、９月時点で，押収された資金のほぼ全額がベネズエラの銀行へ送金されたという。ベネズエラの銀行は外国為替取引を通じて、ベネズエラ通貨のボリバルを支えるためにその資金を利用した。

＊ロシアの裁判所、人権派弁護士を反逆罪で有罪判決：１２日、ロシアの飛び地カリーニングラードの裁判所は、人権派弁護士のマリア・ボンツラー（６６歳）を、反逆罪で禁固１２年と１年間の「自由制限」を言い渡した。検察は、彼女がカリーニングラードの刑事事件に関する情報をウクライナに流したと主張した。人権団体「スロボ・ザシチテ」によると、彼女は政治的事件で複数の被告人の弁護を担当しており、彼女の裁判は非公開で行われた。同人権団体は、ボンツラー本人も弁護士も公判への出席が認められず、最終弁論の提出だけが認められたと言った。ロシアの裁判所はこれまでにも、政治的に敏感な事件を担当した弁護士を収監してきた。例えば、２０２４年に毒殺された野党指導者アクレクセイ・ナワリヌの弁護を担当した弁護士３人は収監された。

＊サンクトペテルブルクで自動車爆破でロシア軍人が死亡：サンクトペテルブルクでロシア軍人が運転していたSUV車が爆発し、軍人が死亡した。警察はこれを殺人事件として捜査している。ロシアの新聞『フォンタンカ』は、３１歳の容疑者が、少なくとも１カ月間監視を行って、軍人の車の下に爆発物を仕掛けたと報じた。同紙によると、容疑者はすでに国外へ逃亡したという。８月にもサンクトペテルブルクでロシア軍人が車の爆発で死亡した事件が発生した。

＊イタリアの学校、爆破の偽予告が２日連続、多くは通常通り運営：１２日、イタリア国内の３７００校に爆破予告があったが、避難措置をとったのは７７校だけ。これは、ジョルジャ・メローニ首相が、「単に一斉メールだけは気にしないで、具体的な根拠を伴う予告なら深刻に捉えよ」と言ったからである。１１日にも約６３００校に爆破予告が届いた。メールには「ミハイル・アンドロポフ」という署名があり、メローニ首相も爆破標的にするとあった。スコットランド、北アイルランド、アイルランドの学校にも同じようなメールが届いたが、授業は通常通り続けられた。

＊盗聴に関する捜査が進行する中、インドネシア副大統領が辞任：インドネシアのギブラン・ラカブミング・ラカ副大統領が１２日に辞任した。彼は、政治的論争が長引いて政治が停滞するのを避けるために辞任すると言った。彼の辞任が話し合われた会議に同席した閣僚によると、プラボウォ・スビアント大統領はギブランに対し、ギブラン自身の潔白を証明するように促したという。

・また、１２日、インドネシア警察は、プラボウォ大統領を盗聴していたことで４人の容疑者を国家反逆罪の容疑で追及できる十分な第一次証拠が集まったと発表した。先週、リストヨ・シギット・プラボウォ元警察庁長官（名前は同じだが、大統領の血縁者ではない）と警察幹部３人が、大統領や政府高官、活動家、ジャーナリストらの電話を盗聴した疑いで逮捕された。リストヨ・プラボウォは大統領の側近の一人であった。

＊ボリビアの元高位の裁判官、麻薬密売容疑で逮捕：１１日、ボリビア当局は、サンタクルス県裁判所の元所長アルド・ケサダを麻薬密売の疑いで逮捕した。彼は先月、麻薬密売業者との関係疑惑で、米政府からビザ発給制限を受けた後、辞任していた。米のビザ制限の対象にはコロンビア、エクアドル、ペルーの高官等も含まれている。ケサダは９月以降に逮捕されたボリビアの司法幹部数人の一人である。９月３０日には、元検事総長のロヘル・マリアカがマネー・ロンダリングと麻薬密売の疑いで逮捕されている。２０２５年１１月に大統領になった右派のロドリゲス・パスは米国との関係強化を図っている。先月、ドロップ・サイトのホセ・ルイス・グラナダ・セハ記者がマリアカの逮捕と、ラテンアメリカで米国の利益を高めるために麻薬密売容疑が恣意的に利用されている状況を報じた。

Jose Luis Granados Ceja, “Bolivian Attorney General Was Arrested After Investigating Trump-Aligned Operative”, Drop Site, Oct 30, 2026

＊スーダン軍指導者、気候変動サミットでトルコ、パキスタン、リビアの首脳らと会談：スーダン軍トップのアブデル・ファタハ・アル・ブルハンは１２日、トルコで開催されたＣＯＰ３１で機会をとらえ、トルコのエルドアン大統領、パキスタンのシェバズ・シャリフ大統領、リビアのアブドゥルハミド・ドベイバ首相とそれぞれ会談し、アル・ブルハンの事務所によると、スーダンの政治・安全保障上の課題、各国間の外交・経済関係について協議されたという。

＊国連平和維持軍と南スーダン当局は南スーダンの村で発生した虐殺を阻止しなかった：アムネスティ・インターナショナルは１２日に発表した報告書の中で、南スーダンのアビエムノムで２０２６年3月に起きた襲撃事件に関して、国連南スーダン派遣団は事前に警告を受けていたにもかかわらず、襲撃で虐殺が起きた後になるまで平和維持軍の増員を行わなわなかったと指摘した。１５００人の武装集団がアビエムノム村を襲撃し、住民を銃撃し、２３０棟以上の建物を焼き払い、病院を略奪した。２００人以上が死亡した。アムネスティ・インターナショナルが報告書を公表した後、国連南スーダン共和国ミッション（UNMISS）の広報担当者は、国連平和維持軍の予算削減のために、維持軍は国連基地に避難してきた約２５００人の保護だけで精一杯だったと言った。広報担当者は、南スーダン軍に繰り返し増員を要請していたと述べた。国連安保理は4月に UNMISS の任務期間を延長したが、兵員数は1万７０００人から1万２０００人へと削減した。